

## 職員による自己評価

内 容		1学期	2学期
子ども めざす 姿	1 み仏様を拝む子	3.3	3.4
	2 ありがとうの言える子	3.2	3.3
	3 お話をよく聞く子	2.8	2.9
	4 なかよくする子	3.0	3.4
	5 楽しくふれあい、じっくり遊び、深く考える子	2.8	3.2
教職 めざ す姿	1 み教えを聴き、子どもと共に育つ教職員	3.1	3.3
	2 研修と修養に努め、学び続ける教職員	2.9	3.3
	3 子ども心に寄り添い可能性を伸ばす教職員	3.3	3.3
	4 保護者や地域の方々に信頼される教職員	2.9	3.3
幼稚 めざ す姿	1 子どもたちが喜んで登園・満足して降園する園	3.3	3.5
	2 良質の教育・保育を実践し、生涯にわたる人格形成の基礎を培う園	3.2	3.4
	3 安全で整然とした環境を維持する園	3.1	3.4
	4 子育て支援を推進する園	3.0	3.4
本年度の具体策への取組について			
内 容			
1	毎月の保育主題についての理解を深め、保育主題に基づく教育・保育を実践していますか。	3.0	3.2
2	食育及び体験活動を通して豊かな心を育てていますか。	3.0	3.4
3	安全点検や安全指導、保健衛生管理の徹底、整理整頓などの美化活動に努めていますか。	3.2	3.4
4	造形表現全国大会に向け、日頃の教育・保育を通して研修を深め、自らの資質向上に努めていますか。	2.9	3.2
5	子どもの発達や特性についての理解を深め、特別支援教育の充実に努めていますか。	3.0	3.2
6	保護者への情報発信と情報共有の工夫に努め、子育て支援を推進していますか。	3.1	3.1
7	職員連絡ノート等を通して職員間の共通理解を図り、共通実践に努めていますか。	3.2	3.3
8	未就園児教室の運営を工夫し、和光幼稚園の魅力を発信していますか。	3.2	3.2
9	行事や活動の精選、事務の効率化を推進し、働きやすい職場環境になっていますか。	3.0	3.0
10	園の自己評価・保護者評価・関係者評価を踏まえたマネジメントサイクルを活かし、園運営を推進していますか。		3.1

## 【来年度に向けての課題】

- 1 災害対応・・・備蓄、午睡の部屋の耐震対応等
- 2 業務量の見直し・・・行事への取組、資料作成、お便り作成等の精選
- 3 教育・保育の質の向上、園児理解に関する研修の充実
- 4 必要な情報の職員間での周知・共有の工夫
- 5 園務分掌組織における配置の適正化

令和6年3月30日

## 令和6年度のスタートに当たって

### 1 「喜んで登園・満足して降園」

子どもが通いたい幼稚園、保護者が通わせたい幼稚園、自分たちも楽しく働く幼稚園にしていく。

- ・笑顔あふれるぬくもりのある幼稚園・・・心の安定
- ・安全で楽しい幼稚園・・・**重大事故発生ゼロ**、危険予知能力育成
- ・自立の基礎を培う幼稚園・・・・・・良質の教育・保育（**根っこを育てる**）
- ・信頼関係に基づく働きがいのある職場・共に育ち合う仲間、同僚性

### 2 環境は人をつくる。人的環境・物的環境を整える。

- ・物的環境の整備・・・ハインリッヒの法則に基づく危機管理 1：29：300  
子どもの育ちを支える教育・保育環境
- ・良好な人的環境・・・体罰禁止、差別的発言・乱暴な言動は厳に慎む。

明るい挨拶, 温かく思いやりのある言葉  
根底にあるのは子どもへの愛情

### 3 組織の一員として, 自分の役割を誠実に果たす。

- 子どもたちの成長を支える自分たちの仕事に, 誇りと責任を持って取り組む。
- 組織 (和光幼稚園の職員, 竜谷学園の職員) の一員としての自覚をもって, 組織の運営に携わる。
- 「報告・連絡・相談・確認」の徹底→必要な情報の共有, 正しい情報の伝達
- よりよい幼稚園を作っていくには, 全ての職員が, それぞれの立場で自分の役割を果たすことができる, 一人一人の力が必要。 → 資質向上を図る。
- 「気づき・考え・実行する」

### 4 おたがい様, おかげ様の気持ちをもつ。

- 職員相互に支え合って楽しく仕事ができる職場
- 周囲の状況を見て, 声かけや手伝いができる職員集団
- 仕事の進捗状況を互いに知る「業務の見える化」を進める。

### 5 健康管理に努める。

- 心と体の健康を維持するための自分なりの方法を持ち, 実践する。
- 早めの受診・治療に心掛ける。
- 10日以上年休が付与されている職員は, 年間5日以上年休を取得する。